JREU JR東労組千葉地本

２０１９年７月９日 No.１
ＪＲ東労組千葉地方本部
発行者：下村悟史
編集者：情宣担当
ホームページ http://www.jreu-chiba.jp/

千葉地本第34回定期大会

組織を展望した2年間の組織強化・拡大の期間も残り1年。
これまでの成果と課題を総括し、今一度、「職場からの挑戦」を一人ひとりが実践し、組織の存亡をかけて、各々が本気になって組織強化・拡大を担っていくことを確認！

地本は７月６日、ＴＫＰガーデンシティ千葉において「千葉地本第３４回定期大会」を、開催しました。

主催者挨拶で下村委員長は「これまでのトップダウンの運動を反省し職場から運動を創り上げていくことを明確にし、新生千葉地本として再出発した。そして組織の存亡をかけて向こう2年間を『組織強化・拡大期間』と決めて、各支部や各分会でレクの開催、各種施策に対する職場集会、団体交渉等を取り組んだ一年であった」「一方で組織拡大は、多くの組合員が実践して頂いているものの大会以降1名に留まり課題である」「ジョブローテーションでは現地現職に拘り反対との意見があるのも現実。しかし反対でこの先、組合員の雇用を守れるのかという労働組合としても現実を考えなければならない」とこの一年の総括と再加入の取り組みと現実、施策への向き合い方など挨拶がありました。

代議員からは「今回提起されたスローガンは18春闘で多くの仲間を失った反省から生まれた未来へ繋げる礎だ」「ジョブローテーションの施策に対して職場の声を聞き本部に届けたい、また反対ではなく議論して離脱した元組合員に安心してもらえる施策をつくるべきだ」「支部としても職場の問題に向き合い、施策に関しても議論と運動を通じて再加入に繋げていきたい」「誰のための何のための東労組なのかを見つめないしこの一年主体的に実践していきたい」「私自身が組織を存亡させる為にも再加入の取り組みを牽引していく」「この一年再加入によって組織を再生させよう」等、16名からのスローガン、施策、職場の取組みや現状、再加入への意気込みなど発言が多くありました。

千葉地本はこれからも組合員の声を大切にし、「スト権に頼らない、組合員と共に歩むＪＲ東労組をつくろう！」のスローガンもと、組合員の雇用と利益を守り、家族の幸せを実現するために各施策に向き合い議論し、今も職場で頑張っている組合員を大切にし、信頼を積み上げ全組合員で再加入の取り組みをしていく方針とスローガンを満場一致で確認しました。

ジョブローテーション要求実現に向けて「檄布」を中央本部に託す！

議長団

小高代議員（成田）　宗田代議員（千葉）

情報コンクール表彰

最優秀賞 千葉運輸区分会　優秀賞 蘇我運輸区分会　努力賞 地本青年部　努力賞 JRバス館山分会

組合表彰

上野　美喜男さん
（元地本執行副委員長）

《2019年度執行体制》

執行委員長	下村	悟史
執行副委員長	花澤	敏夫
執行副委員長	大川	恵二
執行副委員長	生田	哲也
執行副委員長	宗田	信彦
書記長	鵜ノ澤	信一
組織部長	砂塚	悠介
組織担当部長	竹内	靖
組織担当部長	小野寺	正晴
組織担当部長	宮田	光良
組織担当部長	宮内	達也
組織担当部長	白井	裕之
組織担当部長	堀内	正大
組織担当部長	南	晃
業務部長	中曽根	賢次
業務担当部長	久能	裕一
業務担当部長	伊藤	洋一
業務担当部長	小川	真弘
業務担当部長	丸山	貴司
業務担当部長	杉崎	勝光
業務担当部長	今野	浩考
総務部長	柳本	洋平
組織部員	長谷	理生
総務部員	加藤	由夏
資料室長	萩野	光男
資料室次長	高梨	厚
青年部長	鈴木	大貴
会計監査員	佐藤	英彰
会計監査員	五味	巧郎
会計監査員	豊田	太郎

組合員・家族の幸せのために執行部は奮闘していきます！よろしくお願いします！